



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

東

上場会社名 セイコーグループ株式会社

上場取引所

コード番号 8050

URL <https://www.seiko.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）高橋 修司

問合せ先責任者（役職名）経理部長

（氏名）南 正宣

（TEL）03-3563-2111

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日

2025年12月5日

決算補足説明資料作成の有無

：有

決算説明会開催の有無

：有

（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	160,524	6.3	16,849	26.2	17,398	35.6	12,498	44.2
2025年3月期中間期	151,001	15.0	13,351	63.6	12,833	38.8	8,667	38.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 9,567百万円（23.8%） 2025年3月期中間期 7,729百万円（△51.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	305.88	—
2025年3月期中間期	212.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	373,768	165,161	43.6
2025年3月期	369,236	158,014	42.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 162,932百万円 2025年3月期 155,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	55.00	100.00
2026年3月期	—	60.00			
2026年3月期（予想）			—	70.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	318,000	4.3	24,500	15.3	24,500	18.0	16,000	20.1
								391.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	41,404,261株	2025年3月期	41,404,261株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	533,027株	2025年3月期	559,410株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	40,860,274株	2025年3月期中間期	40,807,714株

(注)「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年4月1日～9月30日）における日本経済は、インフレ下で個人消費などを中心に弱い動きがみられるものの、緩やかな回復傾向にあります。またインバウンド需要は、大阪・関西万博や世界陸上などのイベント開催を背景に堅調に推移しました。

海外経済は、米国で底堅い成長が続くほか、欧州はインフレ鈍化などにより緩やかな回復傾向にあります。中国は、内需の減速などで持ち直しが鈍化しており、不動産市況は引き続き懸念材料です。

（単位：百万円）

	2024年3月期 中間会計期間 (a)	2025年3月期 中間会計期間 (b)	2026年3月期 中間会計期間 ①	前々年同期 増減 ①－(a)	前年同期 増減 ①－(b)
売上高	131,295	151,001	160,524	29,229	9,522
営業利益	8,160	13,351	16,849	8,688	3,497
%	6.2%	8.8%	10.5%	4.3pt	1.7pt
経常利益	9,247	12,833	17,398	8,150	4,565
%	7.0%	8.5%	10.8%	3.8pt	2.3pt
親会社株主に帰属する 中間純利益	6,281	8,667	12,498	6,217	3,830
%	4.8%	5.7%	7.8%	3.0pt	2.1pt
換算レート					
USD（円）	141.1	152.8	146.0	5.0	-6.7
EUR（円）	153.5	166.0	168.1	14.6	2.0

このような中、エモーショナルバリューソリューション事業は、ウオッチ事業において海外が牽引して売上高を伸ばし、和光事業も堅調に推移しました。デバイスソリューション事業の売上高も前年同期を上回り、引き続き回復傾向にあります。システムソリューション事業は、多角化やストックビジネス拡大への取組みを継続し、前年同期を上回る売上高となりました。その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は、1,605億円（前年同期比6.3%増）となりました。

連結全体の国内売上高は830億円（同2.6%増）、海外売上高は774億円（同10.6%増）となり、海外売上高割合は48.3%でした。

当中間連結会計期間の販売費及び一般管理費は、広告宣伝販促費が前年同期に対して約10%増加したことなどにより、573億円（同4.3%増）となりました。営業利益は、エモーショナルバリューソリューション事業とデバイスソリューション事業が大きく伸ばし、システムソリューション事業も増益となったことから、前年同期から34億円増加の168億円（同26.2%増）となりました。営業外収支は、為替差益の計上などにより前年同期から改善し、経常利益は前年同期を45億円上回る173億円（同35.6%増）となりました。特別損益は、特別利益として固定資産売却益5億円を計上しております。その結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、38億円増加の124億円（同44.2%増）となりました。

なお、当中間連結会計期間の平均為替レートは1米ドル146.0円、1ユーロ168.1円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

なお、当中間連結会計期間より、セイコータイムクリエーション㈱のクロック販売事業をセイコーウオッチ㈱に移管するとともに、「エモーショナルバリューソリューション事業」に含めていたセイコータイムクリエーション㈱を「システムソリューション事業」に変更しております。

また、「デバイスソリューション事業」に含めていたセイコーフューチャークリエーション㈱を「その他」に変更しております。

① エモーショナルバリューソリューション事業（EVS事業）

EVS事業の売上高は前年同期比51億円増加の1,053億円（前年同期比5.1%増）となりました。

ウオッチは、国内、海外ともに「セイコープロスペックス」、「セイコープレザージュ」、「セイコー5スポーツ」が牽引してセイコーグローバルブランドが堅調に推移し、売上高は前年同期から大きく伸長しました。また「グランドセイコー」も、米国を中心に海外で復調傾向にあります。ウオッチムーブメントの外販ビジネスについても堅調に推移し、売上高は前年同期から増加しました。和光事業もウオッチを中心に堅調に推移しました。

営業利益は、前年同期から18億円増加し159億円（同13.3%増）となりました。

② デバイスソリューション事業（DS事業）

DS事業は売上高320億円（前年同期比9.1%増）、営業利益20億円（同91.3%増）となりました。

小型電池は、医療向け酸化銀電池を中心に売上高を大きく伸ばし、またインクジェットヘッドも用途拡大等で前年同期から売上高が増加したことなどから、デバイスソリューション事業は前年同期から増収増益となりました。

③ システムソリューション事業（SS事業）

SS事業の売上高266億円（前年同期比6.4%増）、営業利益は22億円（同10.9%増）となりました。

前年度から引き続きITインフラ関連やセキュリティ関連ビジネスが拡大したほか、外食チェーン向けオーダーエントリーシステム等のビジネスが伸長し、また当中間連結会計期間に行ったM&Aも収益に貢献したことなどから、セイコーソリューションズ㈱の事業は38四半期連続で増収増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は3,737億円となり、前年度末に比べて45億円増加しました。流動資産では、現金及び預金が14億円、受取手形、売掛金及び契約資産が42億円、棚卸資産が24億円増加したことなどにより、流動資産合計は前年度末より74億円増加し1,816億円となりました。固定資産では、投資その他の資産が48億円減少したことなどから、固定資産合計は前年度末と比べ29億円減少の1,920億円となりました。

（負債）

負債につきましては、短期借入金が45億円減少、長期借入金（「1年内返済予定の長期借入金」を含む）が26億円増加し、借入金合計は1,057億円となりました。未払金が32億円、繰延税金負債が10億円減少したほか、支払手形及び買掛金が26億円、賞与引当金が4億円増加したことなどにより、負債合計は前年度末と比べ、26億円減少の2,086億円となりました。

（純資産）

純資産につきましては、株主資本は100億円の増加、その他有価証券評価差額金は36億円減少したことなどから、合計では前年度末と比べ71億円増加の1,651億円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の期末残高は408億円となり、前年度末と比べて14億円の増加となりました。

これは、主として以下の要因によるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益が179億円となり、減価償却費69億円を加え、棚卸資産の増加△21億円および未払金の減少△31億円などの調整を行った結果、前年同期から26億円増加の141億円のプラスとなりました（前年同期は115億円のプラス）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得△52億円などにより、75億円のマイナスとなりました（前年同期は67億円のマイナス）。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の返済や配当金の支払いなどにより55億円のマイナスとなりました（前年同期は31億円のマイナス）。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

EVS事業が前回予想以上に好調に推移していることから、連結業績予想を上方修正いたします。なおDS事業については、銀価格高騰の影響を踏まえ下方修正しております。

【通期連結業績予想】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2025年8月8日)	314,000	23,500	23,500	15,500	379.29
今回修正予想(B)	318,000	24,500	24,500	16,000	391.53
増減額(B-A)	4,000	1,000	1,000	500	12.24
増減率(%)	1.3	4.3	4.3	3.2	3.2

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回	今回予想	前回
エモーショナルバリューソリューション事業	2,040	2,000	245	235
デバイスソリューション事業	630	625	30	33
システムソリューション事業	580	575	60	60
事業別合計	3,250	3,200	335	328
その他	40	45	2	2
連結合計	3,180	3,140	245	235

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去等、連結調整後の数値です。

利益配分につきましては、経営基盤強化のための内部資本の充実と、株主への安定的な利益配分を重視することを基本方針としております。また、当社は株主への主要な利益還元施策を配当による還元とし、連結配当性向30%以上としております。

当期につきましては、本日公表しましたとおり、通期の連結業績予想が前回予想を上回る見通しであることから、当期の期末配当予想を前回予想から1株当たり10.0円増額し、70.0円に修正いたします。

これに伴い、当期の年間配当金は、中間配当金60.0円と合わせて、1株当たり130.0円となります。

【配当予想】

基準日	年間配当		
	第2四半期末	期末	合計(年間)
前回予想 (2025年8月8日公表)	-	60円00銭	120円00銭
今回修正予想	-	70円00銭	130円00銭
当期実績	60円00銭	-	-
前期実績 (2025年3月期)	45円00銭	55円00銭	100円00銭

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,429	40,850
受取手形、売掛金及び契約資産	41,374	45,620
棚卸資産	81,664	84,116
未収入金	3,697	3,161
その他	9,631	9,749
貸倒引当金	△1,614	△1,826
流動資産合計	174,183	181,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	83,290	83,962
機械装置及び運搬具	94,004	94,212
工具、器具及び備品	43,549	45,213
その他	16,736	18,330
減価償却累計額	△178,271	△182,056
土地	52,695	52,747
建設仮勘定	989	1,036
有形固定資産合計	112,995	113,447
無形固定資産		
のれん	6,375	6,842
その他	11,614	12,554
無形固定資産合計	17,989	19,397
投資その他の資産		
投資有価証券	53,123	47,791
繰延税金資産	2,151	2,443
その他	8,938	9,163
貸倒引当金	△146	△146
投資その他の資産合計	64,068	59,252
固定資産合計	195,053	192,096
資産合計	369,236	373,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,238	23,937
電子記録債務	5,609	5,356
短期借入金	50,547	45,993
1 年内返済予定の長期借入金	23,065	30,640
未払金	11,997	8,726
未払法人税等	5,311	5,509
賞与引当金	5,865	6,364
その他の引当金	1,069	1,090
資産除去債務	502	475
その他	24,421	25,430
流動負債合計	149,628	153,524
固定負債		
長期借入金	33,996	29,090
繰延税金負債	5,335	4,250
再評価に係る繰延税金負債	3,720	3,720
その他の引当金	898	1,073
退職給付に係る負債	5,900	5,720
資産除去債務	609	625
その他	11,132	10,601
固定負債合計	61,592	55,081
負債合計	211,221	208,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,256	7,256
利益剰余金	98,164	108,181
自己株式	△1,381	△1,315
株主資本合計	114,039	124,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,711	11,018
繰延ヘッジ損益	△5	△32
土地再評価差額金	8,083	8,083
為替換算調整勘定	18,783	19,480
退職給付に係る調整累計額	359	259
その他の包括利益累計額合計	41,932	38,809
非支配株主持分	2,042	2,229
純資産合計	158,014	165,161
負債純資産合計	369,236	373,768

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	151,001	160,524
売上原価	82,726	86,371
売上総利益	68,275	74,153
販売費及び一般管理費	54,923	57,303
営業利益	13,351	16,849
営業外収益		
受取利息	211	257
受取配当金	458	424
持分法による投資利益	415	566
その他	280	584
営業外収益合計	1,366	1,832
営業外費用		
支払利息	717	709
その他	1,167	573
営業外費用合計	1,884	1,283
経常利益	12,833	17,398
特別利益		
固定資産売却益	-	561
特別利益合計	-	561
税金等調整前中間純利益	12,833	17,959
法人税等	3,986	5,353
中間純利益	8,846	12,606
非支配株主に帰属する中間純利益	178	108
親会社株主に帰属する中間純利益	8,667	12,498

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
中間純利益	8,846	12,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	△3,703
繰延ヘッジ損益	141	△26
為替換算調整勘定	△1,967	1,257
退職給付に係る調整額	115	△125
持分法適用会社に対する持分相当額	530	△441
その他の包括利益合計	△1,117	△3,039
中間包括利益	7,729	9,567
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,536	9,375
非支配株主に係る中間包括利益	192	191

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	12,833	17,959
減価償却費	7,040	6,943
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	200
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	△241
受取利息及び受取配当金	△670	△681
支払利息	717	709
為替差損益 (△は益)	99	△81
持分法による投資損益 (△は益)	△415	△566
固定資産売却損益 (△は益)	-	△561
固定資産除却損	49	158
売上債権の増減額 (△は増加)	3,335	△3,447
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,135	△2,113
未収入金の増減額 (△は増加)	1,825	569
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,435	2,125
未払金の増減額 (△は減少)	△5,859	△3,175
その他	929	1,231
小計	15,332	19,027
利息及び配当金の受取額	670	681
持分法適用会社からの配当金の受取額	49	51
利息の支払額	△659	△712
法人税等の支払額	△3,872	△4,885
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,520	14,163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,034	△5,248
有形固定資産の売却による収入	44	739
投資有価証券の取得による支出	△200	△0
貸付けによる支出	△164	△121
貸付金の回収による収入	223	177
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△801
その他	△1,602	△2,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,734	△7,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	680,259	615,192
短期借入金の返済による支出	△687,023	△619,744
長期借入れによる収入	18,800	14,900
長期借入金の返済による支出	△11,892	△12,230
配当金の支払額	△1,757	△2,273
リース債務の返済による支出	△1,289	△1,386
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△228	-
その他	△30	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,162	△5,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	△777	505
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	846	1,539
現金及び現金同等物の期首残高	32,683	39,429
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	△118
現金及び現金同等物の中間期末残高	33,529	40,850

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

当中間連結会計期間より、連結財務情報のより適正な開示を図るため、決算日が連結決算日と異なっていた連結子会社のうち、SEIKO Precision (Thailand) Co., Ltd. の決算日を2月末日から12月末日に、Seiko Instruments (Thailand) Ltd. の決算日を1月末日から12月末日に変更し、いずれも連結決算日に本決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎とする方法に変更しております。これらの変更により、当中間連結会計期間は、2025年4月1日から2025年9月30日までの6か月間を連結しております。なお、当該連結子会社の決算期変更に伴う損益については利益剰余金に直接計上しております。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーソリユ ーション事業	デバイスソ リユース ン事業	システムソ リユース ン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	98,746	27,511	23,646	149,904	873	150,778	223	151,001
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,457	1,893	1,345	4,696	657	5,353	△5,353	—
計	100,203	29,404	24,992	154,600	1,531	156,132	△5,130	151,001
セグメント利益	14,070	1,062	1,993	17,127	154	17,281	△3,929	13,351

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額223百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△3,929百万円には、のれんの償却額△283百万円、セグメント間取引消去等199百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△3,845百万円が含まれております。全社費用の主なもの、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーソリユ ーション事業	デバイスソ リユース ン事業	システムソ リユース ン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	104,081	29,640	25,562	159,284	965	160,250	274	160,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,240	2,426	1,041	4,708	850	5,558	△5,558	—
計	105,321	32,067	26,604	163,992	1,815	165,808	△5,284	160,524
セグメント利益	15,937	2,032	2,211	20,181	74	20,255	△3,406	16,849

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額274百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△3,406百万円には、のれんの償却額△283百万円、セグメント間取引消去等413百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△3,536百万円が含まれております。全社費用の主なもの、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、セイコータイムクリエーション㈱のクロック販売事業をセイコーウォッチ㈱に移管するとともに、「エモーショナルバリューソリューション事業」に含めていたセイコータイムクリエーション㈱を「システムソリューション事業」に変更しております。

また、「デバイスソリューション事業」に含めていたセイコーフューチャークリエーション㈱を「その他」に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。